

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科※ 設計生産工学講座
(※改組により平成30年4月発足)
3. 専門分野 加工分野
チタン系材料のような難切削材料や高硬度材料の加工、高精度表面加工、精密塑性加工、複合材料の加工等に関わる研究経歴を有し、これらの分野における研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学部) 知能機械製作学、加工工学、セミナー、課題研究、卒業研究指導など
(大学院) 超精密加工学、材料構造システム論、標準化論A、システム設計論 II、
機械知能システム学専門セミナー、修士論文指導、博士論文指導など
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有し、研究上の業績を有すること
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲を持っていること
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 平成30年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3) 勤務 裁量労働制
(4) 任期 5年の任期制(再任回数に制限はありません)
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書(本学所定の様式1による。*)
(2) 研究業績書(本学所定の様式2による。*) 学術論文は、①学術誌論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○をつけてください。
(3) 主要論文5編(コピー可)
(4) これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1000字程度)
(5) 教育に対する抱負(1000字程度)
(6) 研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧

注) *印：履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、
ホームページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/>)をご参照下さい。
9. 応募締め切り 平成29年10月31日(火) 必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2) 第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
(1) 提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本 真一
※封筒の表に「機械工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。応募書類は返却しません。
(2) 問合せ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 機械工学科長 鶴田 俊
TEL : 0184-27-2102(ダイヤルイン) E-mail : TTsuruda@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
(女性活躍推進行動計画 : <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)
(子育て支援等行動計画 : <http://www.akita-pu.ac.jp/kosodate/kosodate.pdf>)

今回の公募で求める人材像

機械工学科では、学科の研究教育方針に基づき、さらに今後強化すべき設計生産工学講座における研究分野の観点を加え、航空機産業で重要なチタン系材料のような難切削材料、金型や光学部品のような変形や表面精度に対する要求の高い加工、塑性加工、複合材料の加工を含む高精度な材料加工技術を対象とし、研究や教育、地域資源活用、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

機械工学の基礎である加工を理解し、切削や表面研磨等の機械加工や塑性加工、複合材料の加工等を含む材料加工技術における広い専門性を有し、精密加工技術の基盤を持続させる教育を行える人材を求めます。先端加工研究グループが担当する加工技術をさらに発展させ、より自由度の高い精密加工を実現する教育に取り組める人材を求めます。

[研究]

設計生産工学講座では、航空機産業で重要なチタン系材料のような難切削材料を加工する研究、金型や光学部品のような変形や表面精度に対する要求の高い加工、さらには塑性加工や複合材料の加工を含めた高精度加工技術に関する研究を主要テーマに掲げております。今後、これらの研究に取り組みつつ、実用性を重視した精密加工法の開発、高性能・高耐久化を実現したいと考えております。これらのテーマに意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

設計生産工学講座では、地域における精密機械加工分野に関わる技術開発、共同研究に取り組んできました。実用性を重視した精密加工技術の開発など、地域における課題解決に意欲的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

平成30年度 機械工学科 大講座制グループ構成(予定)

別紙2

基本方針: 機械工学科は3大講座制を継続し、地球資源・エネルギーの有効利用による、人と環境に優しい高度機械システムに関する教育と研究を推進する。

材料構造工学講座

- 応用材料力学研究グループ
複合材料、弾性力学
- 先端材料研究グループ
先端材料信頼性、先端材料創製

熱・流体工学講座

- 熱科学研究グループ
熱科学、燃焼工学
- 流体科学フロンティア研究グループ
流体科学機能ジェネレーション、生命流体科学

設計生産工学講座

- 応用機械設計研究グループ
機械設計、高エネルギー密度応用プロセス、流体工学
- 先端加工研究グループ
先端加工技術、ナノ/マイクロ加工